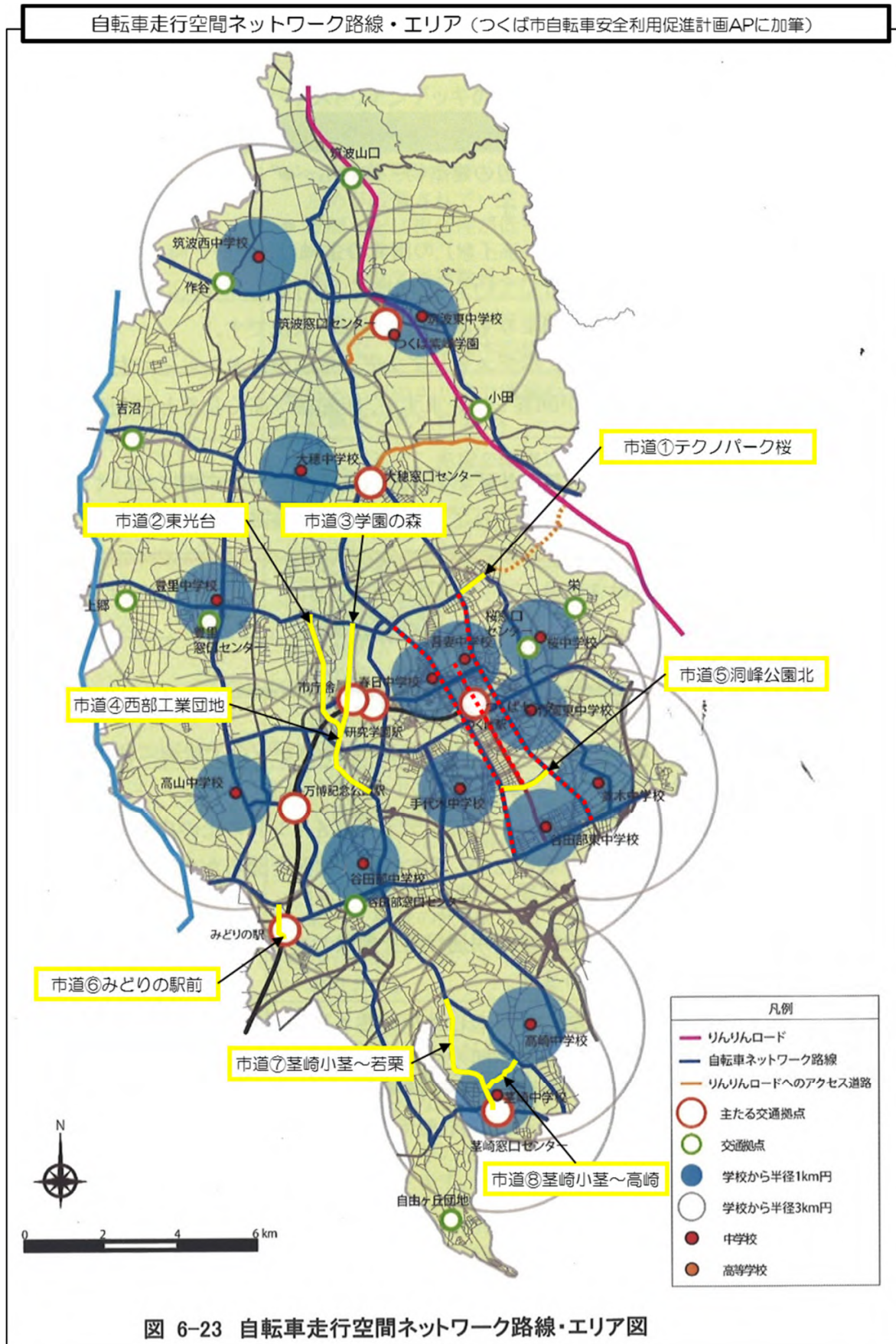
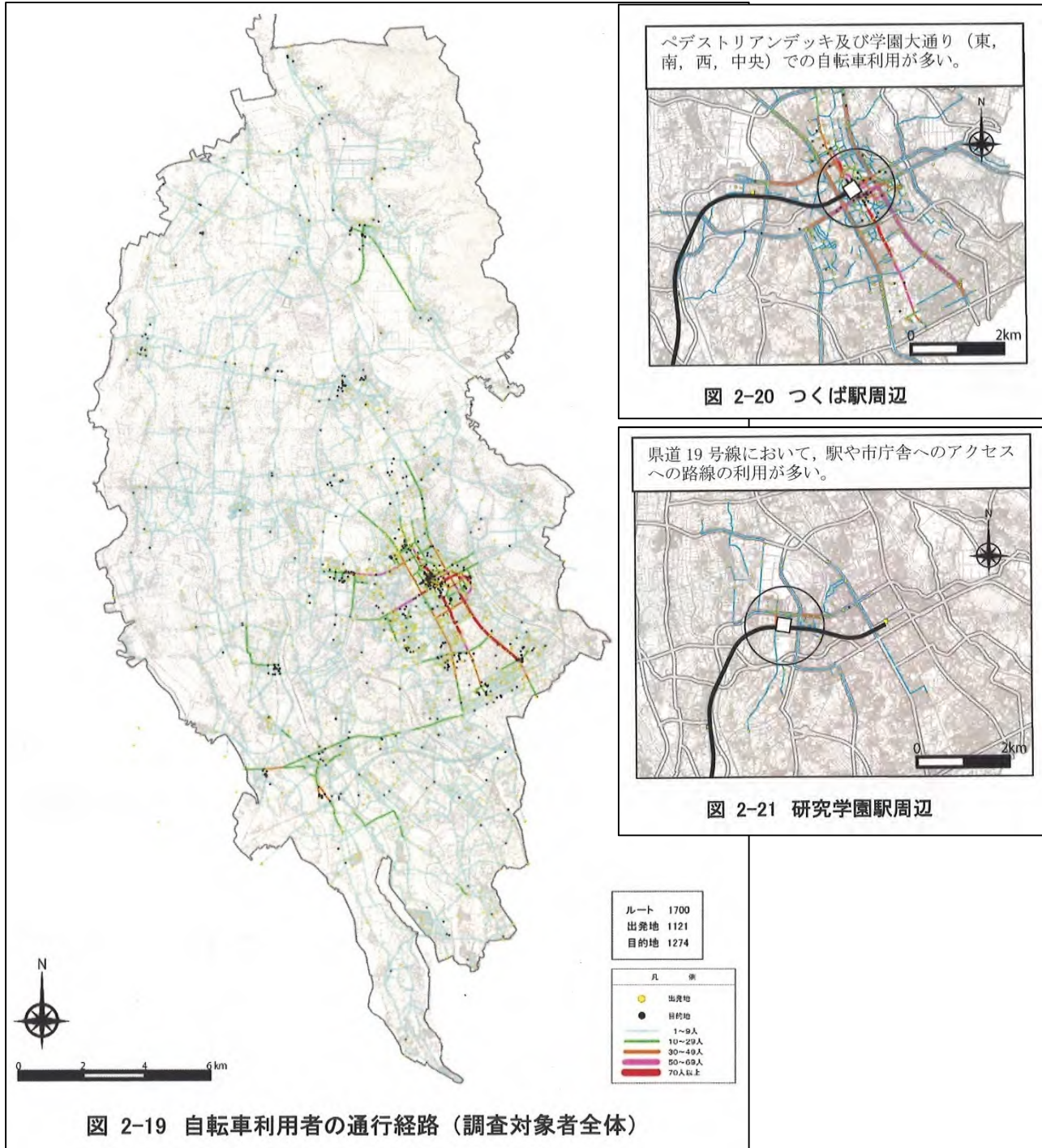


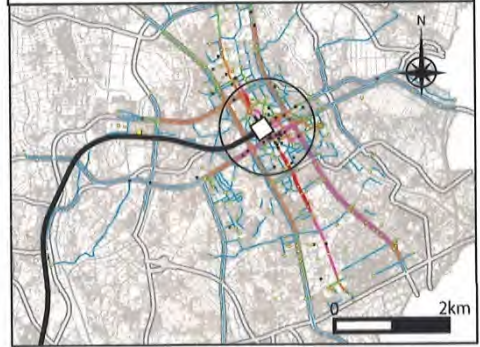
参考1：自転車走行空間ネットワークと市道



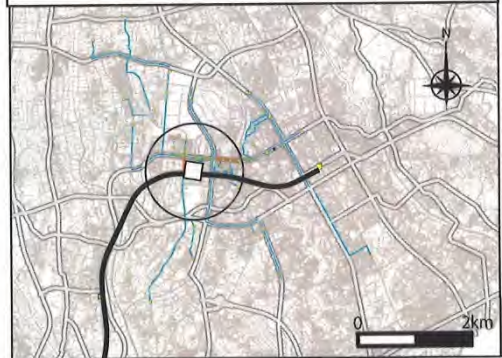
参考2：自転車利用経路に関するアンケート調査結果



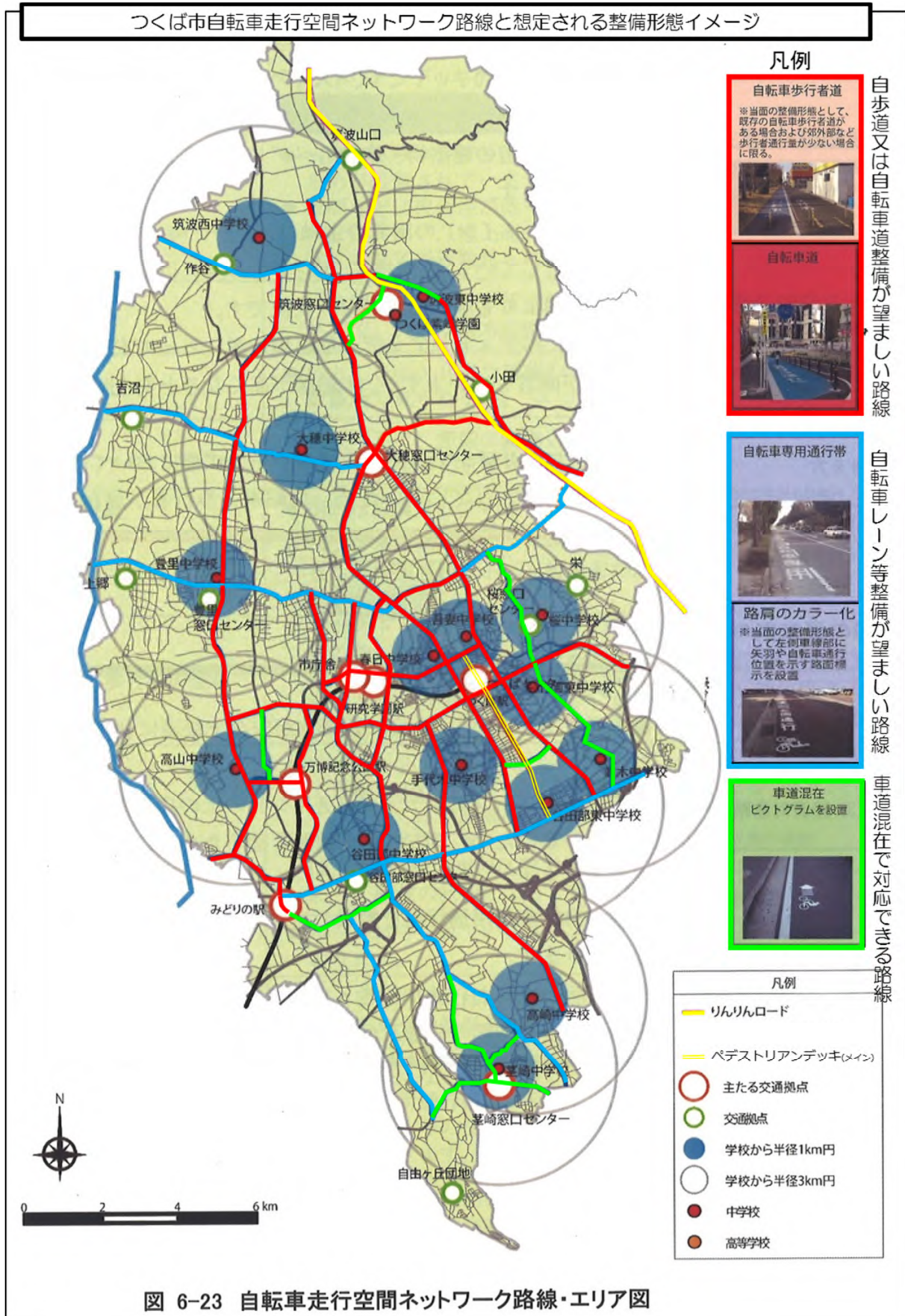
ペDESTリアンデッキ及び学園大通り（東、南、西、中央）での自転車利用が多い。



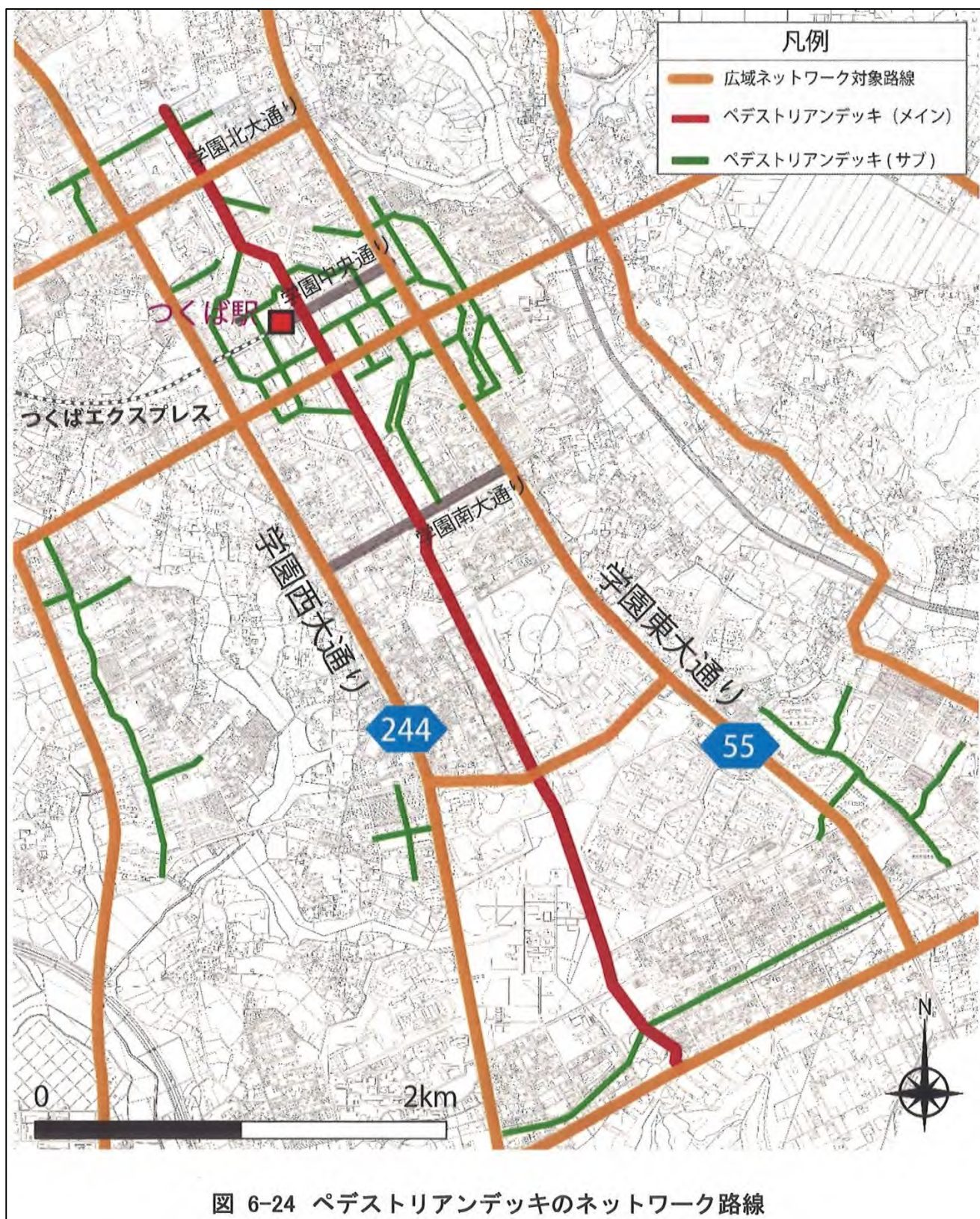
県道 19 号線において、駅や市庁舎へのアクセスへの路線の利用が多い。



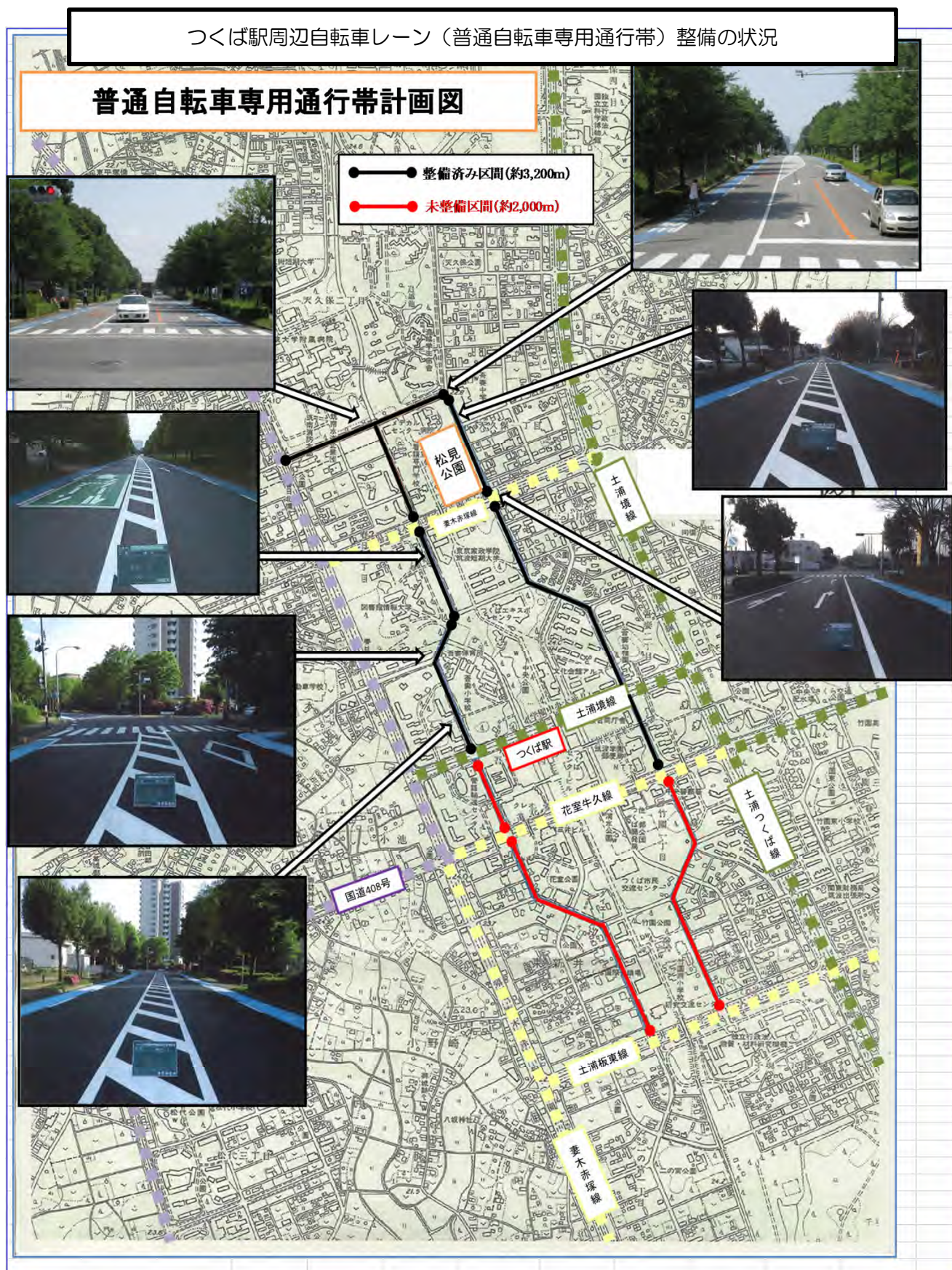
参考3：つくば市自転車走行空間ネットワーク路線と想定される整備形態イメージ



参考4：ペDESTリアンデッキのネットワーク路線について



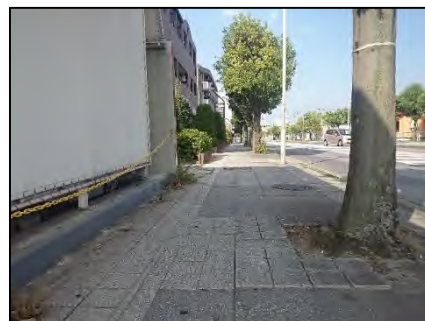
参考5：つくば駅周辺地域の自転車レーン整備状況



参考6：自転車走行空間ネットワーク路線における市道の概要

No.1 テクノパーク桜

- 車道外側線及び車道中央線がなく、店舗へ右折するクルマによる渋滞対策で道路中央部にゼブラが存在するのが特徴的な路線。
- 広幅員の自歩道が整備されているが、街路樹等により狭くなっている箇所もある。
- アパートが多く、筑波大学～テクノパーク桜間の自転車交通量は多め。



No.2 東光台

- 路線の北部分に住宅地、南部分に工業団地を有する路線。
- 片側4車線で路肩はほとんどない。
- 自歩道認定されているものの、歩道幅員は2m程度。



No.3 学園の森

- 市役所の北側、学園の森地域を南北に通る路線。
- 片側1車線ずつの2車線、車道外側線がなく、路肩もほとんどない。
- 広幅員自歩道が整備されている。



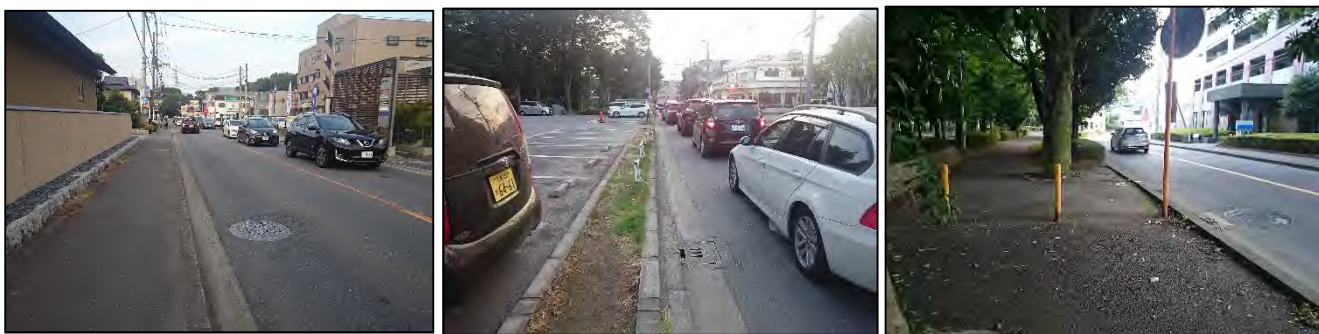
No.4 西部工業団地

- 土浦学園線の学園南交差点から万博記念公園・西部工業団地を抜け、柳橋へ抜ける路線。
- 片側1車線ずつで、路肩は比較的広い。
- 自歩道認定されているものの、歩道幅員は狭い。



No.5 洞峰公園北

- 東大通り～西大通りを結ぶ路線。通勤時間帯には研究機関職員のクルマで渋滞する。
- 片側1車線ずつで、路肩はほとんどない。
- 歩道は北側にあるものの、幅員は1.5m程度と狭い。



No.6 みどりの駅前

- 国道354号線からみどりの駅前を南下していく路線。
- 開発区域は路肩、自歩道幅員ともに広いものの、谷田部の街中では歩道のない箇所も確認できる。



No.7・8 荃崎地区「若栗～小荃」「高崎～小荃」

- 片側1車線ずつの路線。
- 歩道は片側に1.5m程度で設置されているか、または、なし（路側帯）の区間もある。

